

## 研究概要

# 植物工場を活用した機能性野菜・ハーブの生産技術の開発

近年の高齢社会を背景に、健全な食生活により疾病予防をはかり、健康寿命を延伸することが望まれている。これを受けて、健康機能性の高い野菜の市場ニーズが高まっている。植物工場は栽培環境を高度に制御できるので、野菜類の機能性成分を向上させることが可能であり、かつ、周年で安定的に生産できる。

疾病予防効果や美容効果の期待される成分(=機能性成分)を含む野菜を選定する。着目する機能性成分をより向上させる最適な栽培技術を開発する。



植物工場向け栽培システム

## 今後の展開やメッセージ

本分野は、農水省、厚労省、経産省など府庁横断的に技術開発が推進されている。

## 研究者情報



**松本 恵子** 講師・博士(農学)

バイオ・化学部 応用バイオ学科

所属研究所：ゲノム生物学研究所

東京農工大学農学部地域生態システム学科卒。同大学大学院生物システム応用科学研究所博士前期課程修了。同大学大学院連合農学研究科博士後期課程満期退学。新都市国際特許事務所特許技術者、東京工科大学応用生物学部助教、農業・食品産業技術総合研究機構中央農業総合研究センターフィールドモニタリング研究チーム研究員、イシグロ農材(株)イシグロ農業研究所研究員を経て、2014年本学講師就任。

研究者情報URL

<http://kitnet10.kanazawa-it.ac.jp/researcherdb/researcher/RBEACD.html>

Keyword

植物工場/アグロメディカルファーズ/機能性野菜/農業ICT